

連日の猛暑。学校の暑さ対策は急務だ!
公園のバリアフリーについて問う



無所属 田村 ひろゆき(たむら ひろゆき)

問 ある小学校の校長先生から、特に上の階の暑さがきつい。教員も汗を流しながら働いていると聞く。
答 小中学校の全ての教室に空調機器の導入を完了したが、近年は猛暑日が連続するなど教室内の温度が下がりにくい状況にある。
問 昨年度、窓に遮熱フィルムを貼付するなどの対策を試行したと聞くが、効果はあったのか。
答 遮熱フィルムの貼付より、フィルター清掃、エアコン内部の機器洗浄の方が、室温が下がる状況が認められた。今年度も学校の状況を伺いながら適宜対応する。
問 断熱改修に取り組むべき。
答 建て替え等の施設整備を進めるに当たり調整を図っていく。
問 文理台公園の出入口の鉄柵は間隔が狭く、車いすやベビーカーでの進

入が困難。撤去すべきだ。
答 通行幅を拡張する改修工事を予定している。
問 老朽化した遊具を更新する際、*インクルーシブ遊具への置き換えを
しては。
答 地面の舗装変更や柵の設置、安全領域の確保等が課題。公園の新設やリニューアルの際に、市民の皆様の御意見を伺いながら検討する。



文理台公園

一般質問の要旨

第2回定例会で26人の議員が行った主な内容についてお知らせします。掲載内容は、各議員が執筆し、その責任のもとに掲載しています。

質問の全文は会議録に掲載します。会議録の公開予定等は8面をご覧ください。

一般質問とは、議員個人が市政全般について市長や教育委員会などに質問することです。

西東京市議会では、答弁時間を含めて1人当たり50分の持ち時間で行っています。



本会議の様子は議会インターネット中継から視聴することができます。QRコードからアクセスしてください。

※公開期間は、定例会分については、次の定例会の初日の録画中継が公開されるまで、臨時会分については、公開の日から3か月間です。

利用者目線に立ったサービスの向上、行政事務の効率化など、窓口業務改善の推進を



西東京市議会公明党 田代 伸之(たしろ のぶゆき)

災害時トイレ計画の策定を
問 災害時のトイレ確保は自治体の責務。様々な災害トイレを組み合わせた体制の整備を求める。併せて、「災害時トイレの確保・管理計画」の策定を進めるべきと考える。
答 避難所避難者や在宅避難者などに対するトイレ環境の充実を図るため必要な対策を検討。計画策定は東京都の動向を注視する。
若者の参画の仕組み・支援の構築を
問 今年度から始まる「若者ミーティング」の取組の中で、若者参画の仕組みづくり、若者支援の在り方について検討を進めるべき。
答 まちを一緒に作り上げていく仕組みづくり、若い方々が市に求める支援について検討する。
利用者目線で窓口業務の改善を
問 今後の生産年齢人口の減少や行

政需要の多様化、複雑化などを踏まえ、業務改善を強靱に進めることが必要。市民サービスに直結する窓口業務について、改善に向けた取組の方向性を伺う。
答 窓口業務の改善は全庁的に取組を進める必要がある。紹介があった北見市の取組などを参考に、庁内の検討体制や進め方など方向性を整理する。



「福祉避難所」へ、直接避難できる体制へ! 遊ぶ広場が不足 校庭開放を進めること!



西東京市議会公明党 八矢 好美(はちや よしみ)

障がい者(児)の防災対策
問 発災時、市が所有する「福祉避難所」を早期に開設すべき。見解は。
答 まずは、小中学校等へ避難。この間、福祉避難所の開設は事業者と協定締結を行い、拡充を図ってきた。福祉避難所の直接避難について検討したい。
意見 民間任せではなく、しっかりと市が所有する「福祉避難所」も、直接避難を想定すること。
学校の校庭開放
問 柳沢児童広場が使えなくなる。「校庭開放」の今後の方向性は。
答 地域学校協働活動など広く周知し、課題の解消に努める。
意見 特に「田無小学校」は、早急に校庭開放の日にちを増やすこと。
こども家庭センター設置状況
問 設置によって変わったことは。

答 母子保健機能と児童福祉機能の一体的な相談支援体制を整えた。
問 膨大な人数の「切れ目のない支援」を実現するため、相談記録の「システム入力」が基本である。見解は。
答 システムの一元管理に努める。
意見 自治体によっては、タブレットを活用し、作業を大幅に短縮している。現在の業務を見直していただきたい。



学童過密化・いじめの早期対応・ランドセル荷重負担に「子どもど真ん中」の対策を!!



西東京市議会公明党 藤田 美智子(ふじた みちこ)

問 児童を取り巻く課題の改善を求めている。①学童クラブの過密化対策②*スクールソーシャルワーカー(SW)の小中学校派遣頻度が著しく少なく、いじめの早期対応が遅延している点③ランドセルの荷重負担軽減対策が不十分である点
3点の早急な対策を問う。
答 ①共働き世帯の増加に伴い過密化解消は喫緊の課題。入退室管理システムを活用し、出席状況を時間帯別に分析。利用状況の把握を行い、教室のタイムシェアで過密化の解消を図る。②いじめは重大な人権侵害。SWは困難な事案に対し役割を担うため増員し、全小中学校を週1回訪問。支援が必要な児童生徒への対応を教職員と話し合い、家庭訪問や面談等に取り組み始めた。学校や保護者からの要望に迅速に対応し継続

的支援につなげる。③教科書や教材、学用品や体育用品に加え、タブレットの持ち帰りにより、児童生徒によっては過重となっている。発達段階を考慮し、学校に置いていってよい教材等を学年だよりや保護者会等で全学年に伝えている。登下校が負担なくできるよう校長会と連携する。

その他の質問

◇軟骨伝導イヤホンの窓口導入



多様な世代、ライフスタイルの市民が住みよいまちへ!



西東京市議会公明党 大林 光昭(おおばやし みつあき)

問 本市は、子ども・子育て支援に取り組んでいるが、子どもがいない、子育てを終えた世帯等も住みよさを実感できる取組をすべき。見解は。
答 各世代のライフスタイルなどを踏まえた施策を展開していく。
問 市内でも刑法犯罪認知件数が増加傾向にある。防犯カメラ設置の考え方を問う。
答 防犯カメラは通学路を中心に設置しており、商店街区域への設置の補助制度も構築している。
意見 個人宅の防犯カメラ設置に補助している自治体もある。本市でも検討すべき。
問 保護者が未就労でも柔軟に保育施設に子どもを預けられる東京都版こども誰でも通園制度の実施状況を問う。
答 現在、幼稚園3園で週3日から

5日の1日2時間程度、2歳児を預かっている。
意見 生後6か月から3歳未満の未就学児を1日8時間まで預かる自治体もある。認定こども園の設置など、同時並行で対策を検討すべき。
問 学校給食無償化で、弁当持参等の子どもへの補助を求めている。
答 東京都から要綱が示されたので、早期に調整して実施していく。



防犯カメラ

*インクルーシブ遊具 障がいの有無にかかわらず利用者が安全・快適に遊べるよう設計された遊具。
*スクールソーシャルワーカー 児童・生徒が生活の中で抱えている様々な問題の解決を図る専門職のこと。